

# PJセッターウォール

## 取り付け説明書 GP103

### ご注意



当商品は、汎用金具として多くのメーカー機種に対応した、プロジェクト用の壁掛け金具です。組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

設置に関しては、個人の自己責任でも可能ですが、内装業者・電設業者様へ依頼するのが良いでしょう。

**組立不良・取り付け不良、および天災等による事故等については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。**

※少しでも取り付けに疑問が生じた場合は、必ずお近くの内装業者・電設業者様にお尋ねください。

## 設置をされる施工業者様へ - 組立設置上のご注意

### ご注意



プロジェクトと金具を合わせると相応の重量になります。強度のある柱や梁にしっかりと設置してください。設置中・設置後共に、怪我やお部屋にキズを付ける事の無いよう、ご注意ください。

- ボルトやワッシャー等のねじ類を含めた部品の取り付けは、正確に行ってください。
- 設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- 以下の場所には設置しないでください。
  - ・湿気や温度の変化の激しい場所
  - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
  - ・振動などがある不安定な場所
- 電源コードや配線に傷を付ける事の無いように注意してください。火災等、事故の原因になります。

**商品には、基本的な必要ネジ類が付属されています。しかし、壁の状態によって別途、アンカー等が必要なケースが多くあります。**

**その場合、お客様（販売店・施工店様）がご用意の上、確実な設置を行うようお願いいたします。**

※付属のネジ類を使用した設置の強度に少しでも不安を感じた場合、ただちに作業を中止し、上記の対応をしてください。

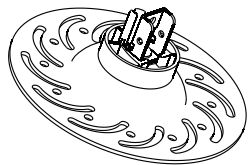
## 設置後のご注意

- 定期的にネジ類の緩みが無い、壁への取り付けにガタが出ていないか確認してください。

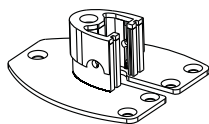
## 設置にあると便利な道具

- 1) 脚立 - 間柱を確認したり、設置の際に必要な場合があります。
- 2) ドライバー - ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー - 電動ドライバーです。手回しのドライバーでも設置可能ですが、あると非常に便利です。
- 4) メジャー - 梁の距離を測ったり、金具の水平を取る場合などに使用する場合があります。
- 5) ペン - 壁にネジを打ち込む位置を確定した時にマーキングします。テープ等でも代用可能です。
- 6) 柔らかい布 - 設置の過程で、プロジェクトを置く事で大切な機器を保護します。

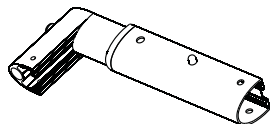
# 部品リスト



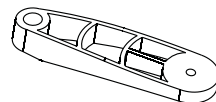
a プロジェクタプレート ×1



b 壁面プレート ×1



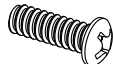
c パイプ ×1



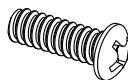
d 取り付けアーム ×4



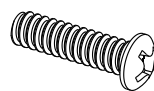
e M3 - 10 ボルト ×4



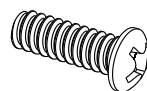
f M3 - 16 ボルト ×4



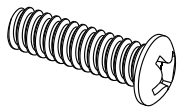
g M4 - 12 ボルト ×4



g' M4 - 30 ボルト ×4



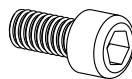
h M5 - 12 ボルト ×4



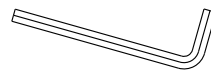
h' M5 - 30 ボルト ×4



j M3/M4 - ワッシャー ×4



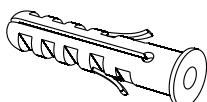
k M6 - 六角ボルト ×8



l 六角レンチ ×1



m ラグボルト ×3



n コンクリートアンカー ×3



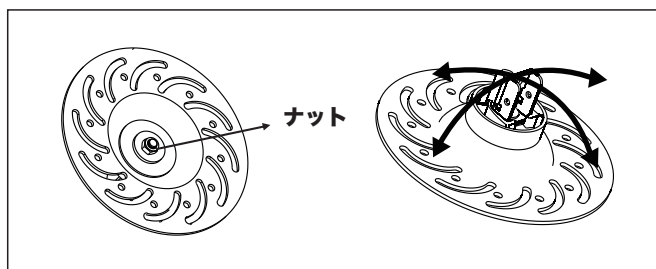
s M4/M5 スペーサー ×4



- 1) 壁にネジを打ち込む前に必ずプロジェクタと金具の適合をご確認ください。
- 2) 壁への設置は基本的にプロの手が良いでしょう。自己責任で行う場合、事故の無いようにくれぐれもご注意ください。

※落下事故があった場合の補償等は一切ございません。

## 設置の前に

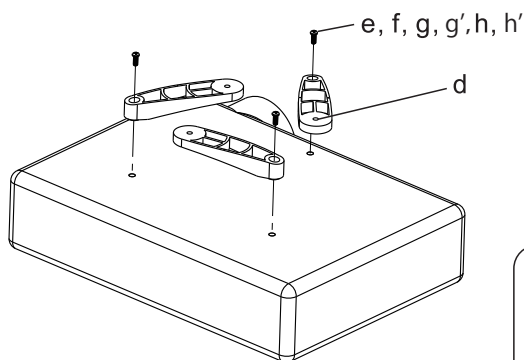


プロジェクタプレート部で角度調節が可能です。  
もし角度調節をご希望する場合、事前に左図にあるプロジェクタプレートの裏側にあるナット部の締め具合をご確認ください。

基本的にナットの締め具合を変える必要はありません。  
プレートの表面にあるボール部を手で動かしてみて、  
丁度よい加減にします。キツめが良いでしょう。  
緩いと、プロジェクタの重みで角度調節が出来なくなります。

## Step 1

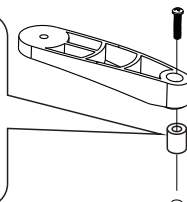
### 取り付けアームをプロジェクトに取り付けます



お手持ちのプロジェクトのネジ穴を確認します。最低 3 点のネジ穴を使用ください。左図をよく見てください。  
取り付けアーム (d) を e ~ h' の内、適合するネジを使用してプロジェクトに仮止めします。あまり強く締めすぎるとステップ 2 の作業がやり難くなりますので、ご注意ください。  
※ネジ穴の位置はプロジェクトの機種によって変わります。左図を参考にして上手くアームを配置してください。

#### ●スパーサー (s)

黒いプラスチックのチューブです。これを金具とプロジェクトの間に挿入することで、プロジェクト取付面の凹凸や曲面に対応します。

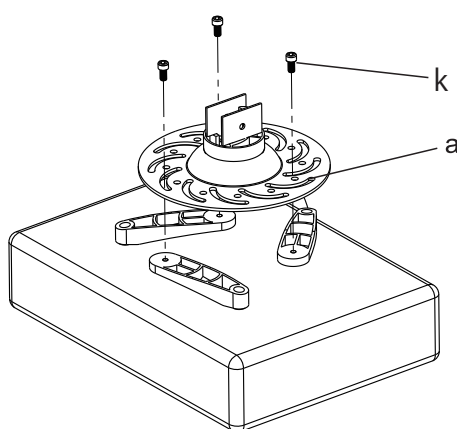


#### プロジェクト取付面に凹凸がある場合

取付面に凹凸がある等、金具が干渉する場合は、付属のスパーサー (黒いチューブ) を間に入れて設置します。M3、M4、M5、それぞれ 2 種類の長さのボルトが付属しています。お手元のプロジェクトに合わない場合、ご面倒ですが別途ご用意ください。

## Step 2

### プロジェクトプレートを取り付けます



プロジェクトプレート (a) を配置します。プレートのスクリー状に開いたネジ穴のどこかに取り付けアーム (d) のネジ穴が合うようにします。左図を参考ください。

仮止めした取り付けアーム (d) とプロジェクトプレート (a) のネジ穴を微調整します。位置が決まりましたら、取り付けアーム (d) の仮止めネジ (ステップ 1) をしっかりと締めてください。

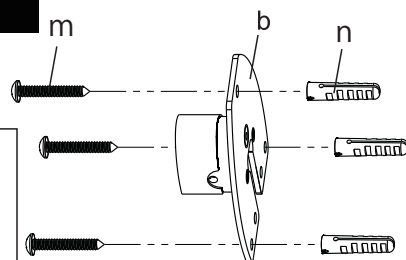
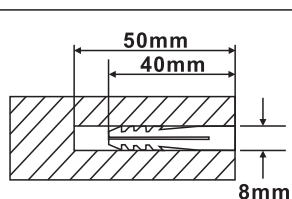
最後に M6 - 六角ボルト (k) を使用してプロジェクトプレート (a) を固定します。固定には六角レンチ (l) を使います。

※落下の危険が無いように、確実にしっかりと固定してください。

## Step 3

### 壁面プレートを取り付けします

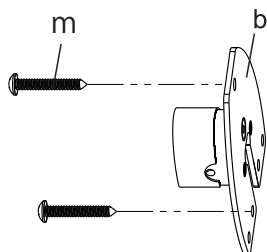
#### コンクリート壁



コンクリートアンカー (n) を埋める為に左図のような穴をドリルで開けます。アンカーをその穴にキッチリと埋め込みます。  
ラグボルト (m) を使用して壁面プレート (b) を固定します。少しでもガタツキがあった場合、設置を中止してください。

※付属のアンカーとボルトが全ての設置に合うとは限りません。現場の壁の状況に合わせて、必要な場合、別途ボルトなどをご用意ください。

#### 木の間柱等への設置



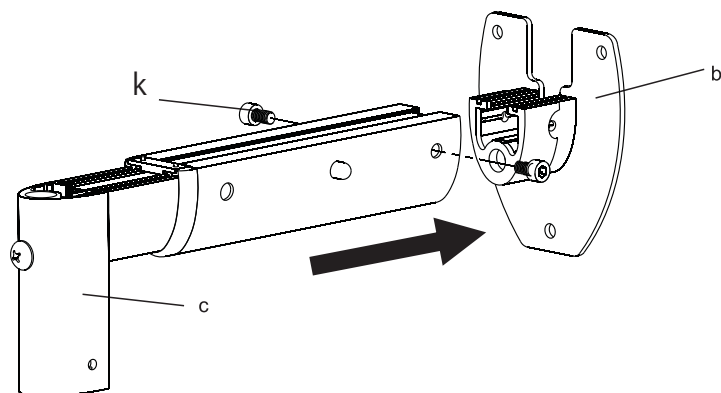
ラグボルト (m) を使用して壁面プレート (b) を固定します。少しでもガタツキがあった場合、設置を中止してください。

※付属のボルトが全ての設置に合うとは限りません。現場の壁面の状況に合わせて、必要な場合、別途ボルトなどをご用意ください。

※間柱や梁が見つからず、石膏ボードへの設置になる場合、別途アンカー等をご使用ください。石膏ボードへの直設置は落下の危険が増します。プロに相談してください。

## Step 4

### 壁面プレートにパイプを接続します

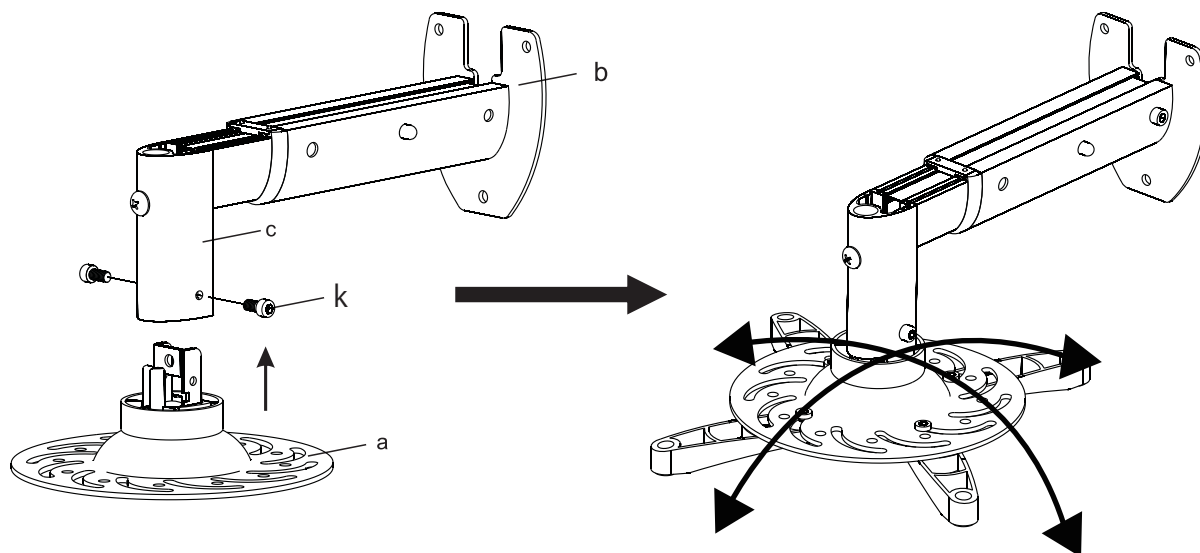


図を参考にしてパイプ (C) を接続します。  
使用する部品ナンバーをよく確認してください。

★部品 k をしっかりとネジ止めしてください。  
ネジ止めには付属の六角レンチを使用します。

## Step 5

### パイプにプロジェクタ部を接続します



上図を参考にしてプロジェクタを接続します。

落下の危険が無いように確実に固定してください。  
部品 k のネジ止めには、六角レンチ (l) を使用します。

★角度調節について  
プロジェクタプレート部のボール部を強く弄ると  
角度調節が可能です。  
設置後の微修正にご使用ください。

## 【！ ご注意！】

各取り付け部分に緩みガタが無いか確認してください。少しでもガタや違和感がある場合、作業を中止し、専門業者にご相談ください。この確認作業は、半年に一回程度定期的の実施し、問題の無いことを確認してください。